



かがやきくいら保育園だより



2023.5.1 発行 記入者：永元 美香

若葉のすがすがしい季節になりました。新しい生活が始まって1か月が経ち、少し緊張気味だった子どもたちの表情も和らいできました。未満児は担任との関係も少しずつ出来てきて、外気に触れて遊んだり、好きなおもちゃであそぶ姿も見られます。以上児は、スポーツ公園までお花見に行ったり、園庭にお花を植えたり、体をたくさん動かして楽しそうな笑い声が聞こえてきています。

5月の予定

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 子どもの日	6 土曜日保育	7
8 1歳児クラス懇談会	9 2歳児クラス懇談会	10 3歳児クラス懇談会	11 4歳児クラス懇談会	12 5歳児クラス懇談会	13 土曜日保育	14
15	16(未満児) 身体測定	17(以上児) 身体測定	18 体操教室	19 お誕生日会	20 土曜日保育	21
22	23 避難訓練	24 サッカー教室	25	26	27 土曜日保育	28
29	30 かがやき広場	31				

《6月の予定》

- 1日・15日・29日 体操教室
- 1日・2日 検尿
- 2日 防犯訓練
- 8日 歯科検診
- 14日 内科健診
- 19日 身体測定(未満児)
- 20日 身体測定(以上児)
- 21日 お誕生日会
- 22日 お誕生日会
- 25日 避難訓練
- 27日 プール開き

サッカー教室について

今年度も、年に6回(前半3回は4.5歳対象)、外部コーチに来ていただき、あいさつやマナーを意識してサッカーを楽しみます。

ボールを使って遊ぶ中で、体の使い方が上手くなり、体幹も鍛えられます。また、友だちと一緒にルールを守って協力して遊ぶ経験をします。

保護者懇談会について

先月のおたよりでもお知らせしていましたが、5月8日～5月15日の期間にチームごとの保護者懇談会を開催致します。

- 日程：5/8 だいちチーム 5/9 あめチーム
- 5/10 にじチーム 5/11 ぞらチーム
- 5/12 くじらチーム 5/15 うみチーム

時間：16:15～(30分～1時間程度)

個別面談のお願い(全園児)

6/1～6/31の間に個人面談を計画しています。ご家庭でのお子さんの様子や園での様子を伝えさせていただき、お子さんを真ん中においてご家庭と保育園の両輪で成長を見守っていきたくと考えております。お忙しいとは思いますが、ご都合つけてくださいますようお願いいたします。

- 登降園時は、お子様と手をつないで安全を留意しながら駐車場、園の施設内への移動をお願いいたします。
- お子様だけで園内から駐車場や近隣の公園へ往來することが絶対にならないよう保護者様の責任の下、監督してください。
- 駐車場のご利用は必要な時間のみとし、できるだけ速やかに車の移動をお願いします。ご利用される方が多数であることをご理解いただき、譲り合っでの利用をお願い申し上げます。



新保護者証について

新マーク変更に伴い、保護者証も新しいものを配布致します。送迎時には必ず見えるところに、身につけていただきますようよろしくお願い致します。忘れて来られた方は、必ず事務所に声をかけてください。

◎畑活動について◎

今年度も地域の方から畑を貸していただけるようになりました。収穫までの間、子どもたちと一緒に水やりをしながら、育つ様子を観察していきます。体験を得て、食にも関心が持てるようにしていきたいです。

くじらチームのお昼寝について

6月より蒸し暑い日も出てくると思いますので、7月開きの6月27日より体を休める目的で午睡(30分～1時間)を始めたいと思います。

クラスだよりでもお知らせいたしますが、お布団のご準備をよろしくお願いいたします。

イヤイヤ期

◎いきなり癡癡を起こす

何か気に入らないことがあったときに、いきなりかんしゃくを起こす場合があります。これは主に0～2歳の子どもに多い行動。自分の気持ちをうまく言葉にできないため、かんしゃくという方法で気持ちを表現しているのです。言葉で気持ちを伝えられるようになれば、かんしゃくも次第に減ってくる傾向にあります。

◎できないことでもやろうとする

自分でやりたい気持ちが強く、なんでもやろうとします。ただ、そこに実力が伴わないため、イヤイヤを言うってしまうのです。初めてのことがうまくいかず、イライラした経験は大人でもあるでしょう。その気持ちと同じです。

子どもが試行錯誤しながらがんばっているときは、なるべく見守ってあげましょう。うまくできなくても、その体験は必ず成長や自信につながります。できたときには、一緒に喜んであげましょう。

◎すべてのことを「イヤ」という

保護者のかたに何を言われても「イヤ」と言うのは、まさにイヤイヤ期の特徴です。意味もなく「イヤ」と言っているだけの場合もあるでしょう。

何でもイヤというときは、子どもに任せて一旦離れてみるのもおすすめです。遠くからそっと見守っていると、いつの間にか自分でやっている場合もあります。イヤなことがあるのではなく、「イヤ」と言うことが目的になっているケースもあるため、あまり思いつめずに余裕を持って接してみてください。

いろんな対処法を試しても、うまくいかないことはあります。子育てに家事に仕事にと忙しいなかで、つい子どもを怒ってしまったという経験は、きっと誰もあるはずで。

そんなときは、素直に謝りましょう。その後、ぎゅーっと抱きしめてスキンシップをとったり、「大好きだよ」という気持ちを伝えたりしてあげてください。大人だって人間ですから、イライラしたい失敗したい間違えたいもします。ただ、それは悪いことではありません。子どもだけでなく、自分自身のうまくいかなかったこともしっかりと受け入れてあげましょう。